



# 明野ヶ丘公園再整備



## 基本計画

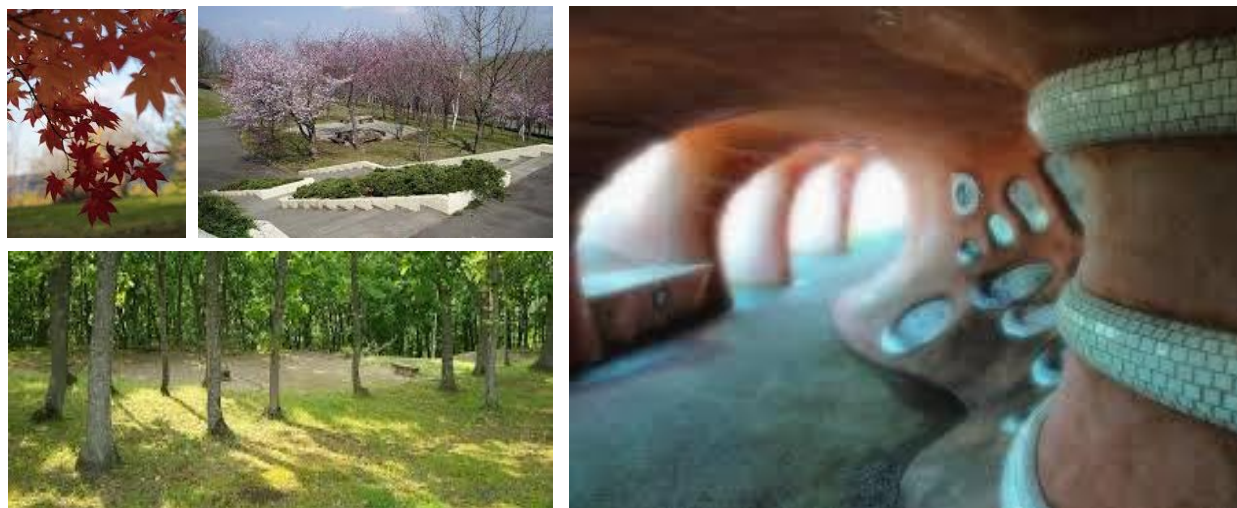
～りすとうさぎのティーパーティー～  
ひとがつながる公園をめざして

【概要版】

2021年12月  
幕別町

## 明野ヶ丘公園の概要

### 公園の概要



平成3年4月供用開始

公園面積：25ha

公園種別：総合公園

現況公園施設：園路、駐車場（3箇所）

トイレ（3箇所）

アスレチック遊具（14種類）

中央広場（ステージ併設）

スキー場（2人乗りリフト完備）

パークゴルフコース、ガーデン

マウンテンバイクコース、

平成8年

開基100年事業

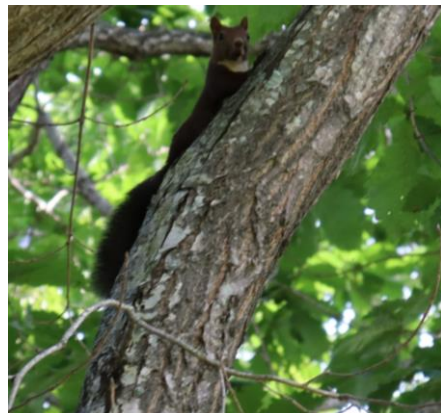
シンボル施設「ピラ・リ」完成

アイヌ語で「偉大なる崖」という意味ですが、実は「未来を見つめる大地の眼」といったメッセージも込められています。

アクセス：JR幕別駅より自転車10分、車5分

駐車場：170台

スキー場営業期間：12月下旬～3月上旬（降雪状況により変動）



## 明野ヶ丘公園の現状



### 利

#### 利用者数

スキー場

リフト輸送者数 **1,100**人/日

営業日数は平均60日前後

パークゴルフ場

利用者数 **6,000**人/年

### 社

#### 会情勢の変化

市街地の人口減少及び少子化と共に、公園の利用者が激減している。

老朽化し危険度判定された遊具の使用規制がされたままの状態。

園内でのイベント等の開催がない。

### 維

#### 持管理コスト増

公園の維持管理は複数年（5年間）契約により外部委託している。

開園当初からの樹木が密に成長し、展望台からの景色を邪魔している

施設の老朽化とともにランニングコストの増大。

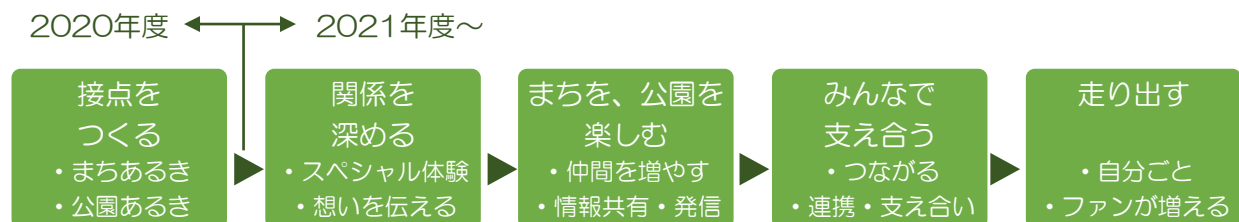
## 計画検討のプロセス

### ■まちの将来像と公園のあるべき姿を一緒に考えることで相乗効果を期待する

明野ヶ丘公園は本町地区を代表する総合公園であり、今後のまちづくりを考える上で、交流や賑わいの拠点となる都市施設です。公園の再整備は市街地の活性化と深く関係する要素であることから、

### ■ファンを増やす取り組み

町民主体の再整備計画づくり、公園の利活用を実現させるためには、行政主導で作りすぎない、マネジメント型プランニングが重要です。設計、デザインは町民のもの、という考え方で計画づくりに取り組むことを基本に、幕別のファンを増やす、公園のファンを増やしなが、まちづくりへ、公園の再整備への関心を高めていきます。ファンづくりは、5つのステップを設けて中長期的に増やしていく取り組みとします。

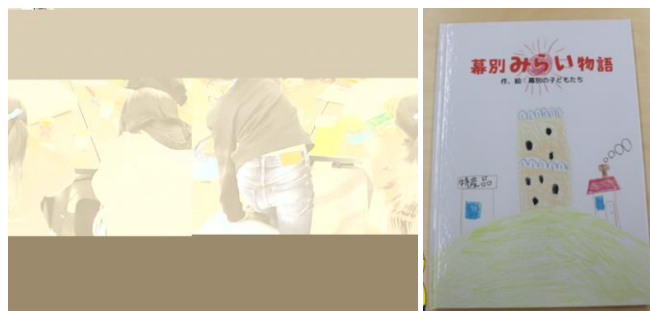


### ■ファン・プロジェクト・まくべつ等、町民参加の実績

町民参加の場づくりは、ワークショップだけではなくイベントやヒアリングなどを通して多面的に行うことで、多様な意見の収集を行いました。新型コロナウイルス感染症の拡大もあってワークショップは延期が続いたが、その結果、公園での紙袋ランタンイベントを実施することとなり、結果的に町民が主体的に関わる機運の醸成に繋がっています。

### ■幕別みらい物語づくり

子どもたちは、まくべつのまちや、公園がどうなったらいいかを想像しながら「幕別みらい物語」を絵本として作成し、将来の夢を描きました。物語の結末はハッピーエンドと爆発エンドに分かれ、子どもらしい楽しい発想で出来上がりました。

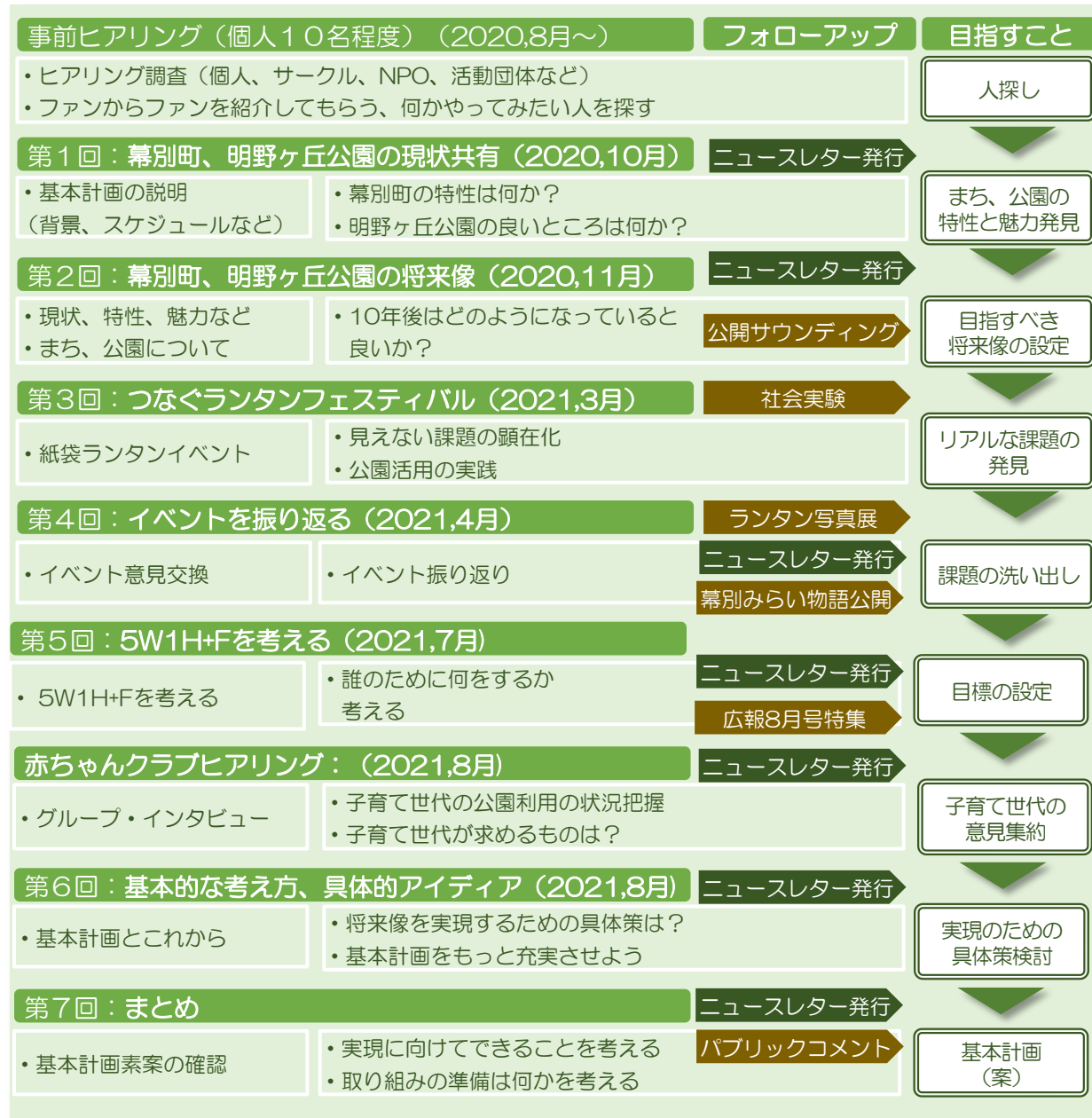


### ■ワークショップ、ヒアリング、社会実験を重ねる

子育て世代のお母さんも含め、20代から70代の参加者がまちの将来像、公園のあるべき姿について意見交換を行いました。顕在化した課題を解決するためにどうしたら良いか、あるべき姿の実現のためにはどんなことができるか、について議論を行いました。



まちの将来像と公園のあるべき姿を表裏一体で考えていくことでの相乗効果を期待します。検討の過程では、まちづくりの考え方と公園の再整備のあり方の二つのテーマで話し合いを進めました。



### ■意見交換から顕在化した課題

●まちの課題1：活力に欠ける若い人がおらず、空き家も増えていてまちが暗い。

●まちの課題2：資源の活用地域の豊かな資源が生かされていない。

●まちの課題3：PRの不足いいものがたくさんあるのに知られていない。

●公園の課題1：施設の老朽化平成2年の全面供用開始から30年が経過、施設の老朽化が進行している

●公園の課題2：認知度の不足公園でのイベント等の開催もなく、公園の認知度が不足している

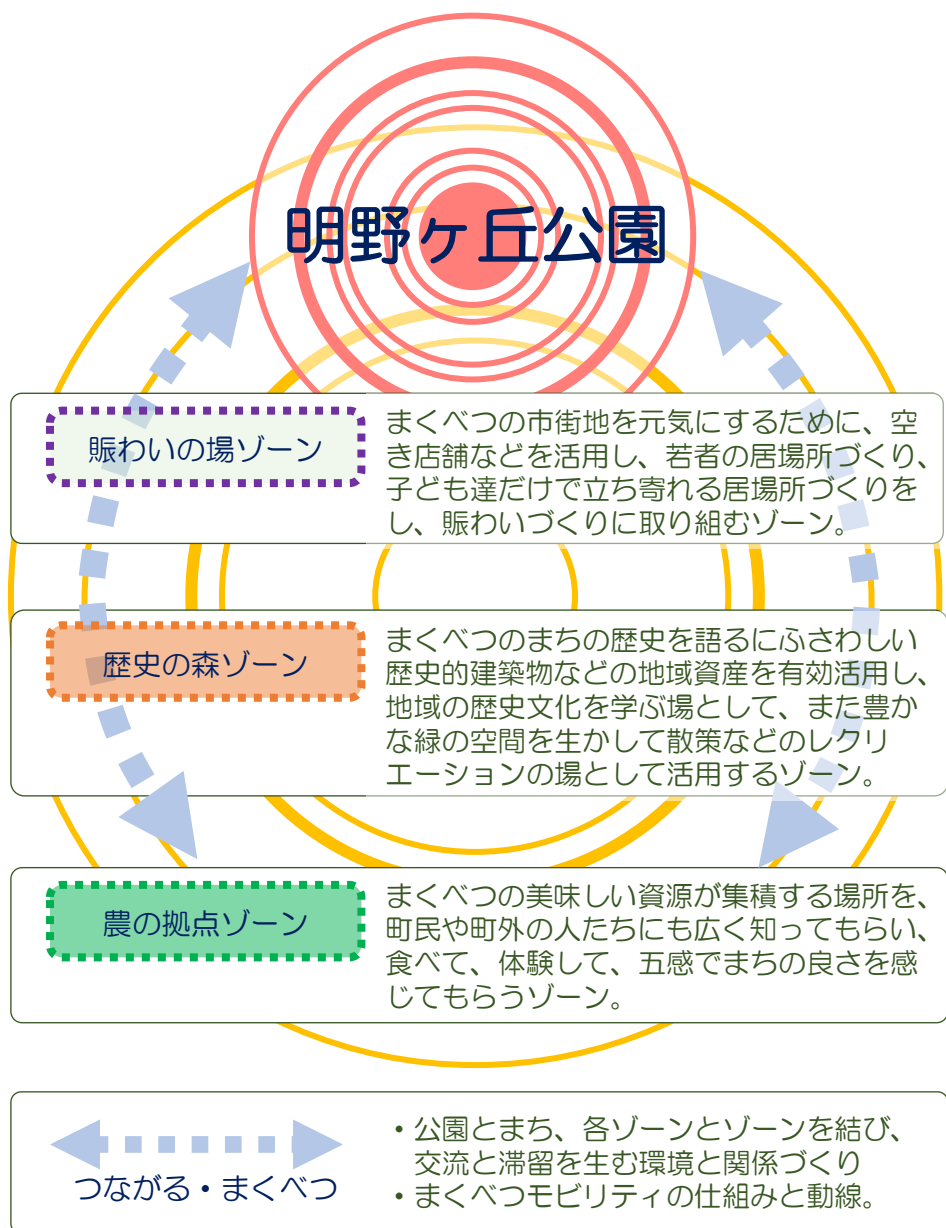
## 公園再整備と連携するまちを元気にする視点

ファン・プロジェクト・まくべつでの意見交換を踏まえ、明野ヶ丘公園再整備と連携するまちづくりの視点を以下のようにまとめました。

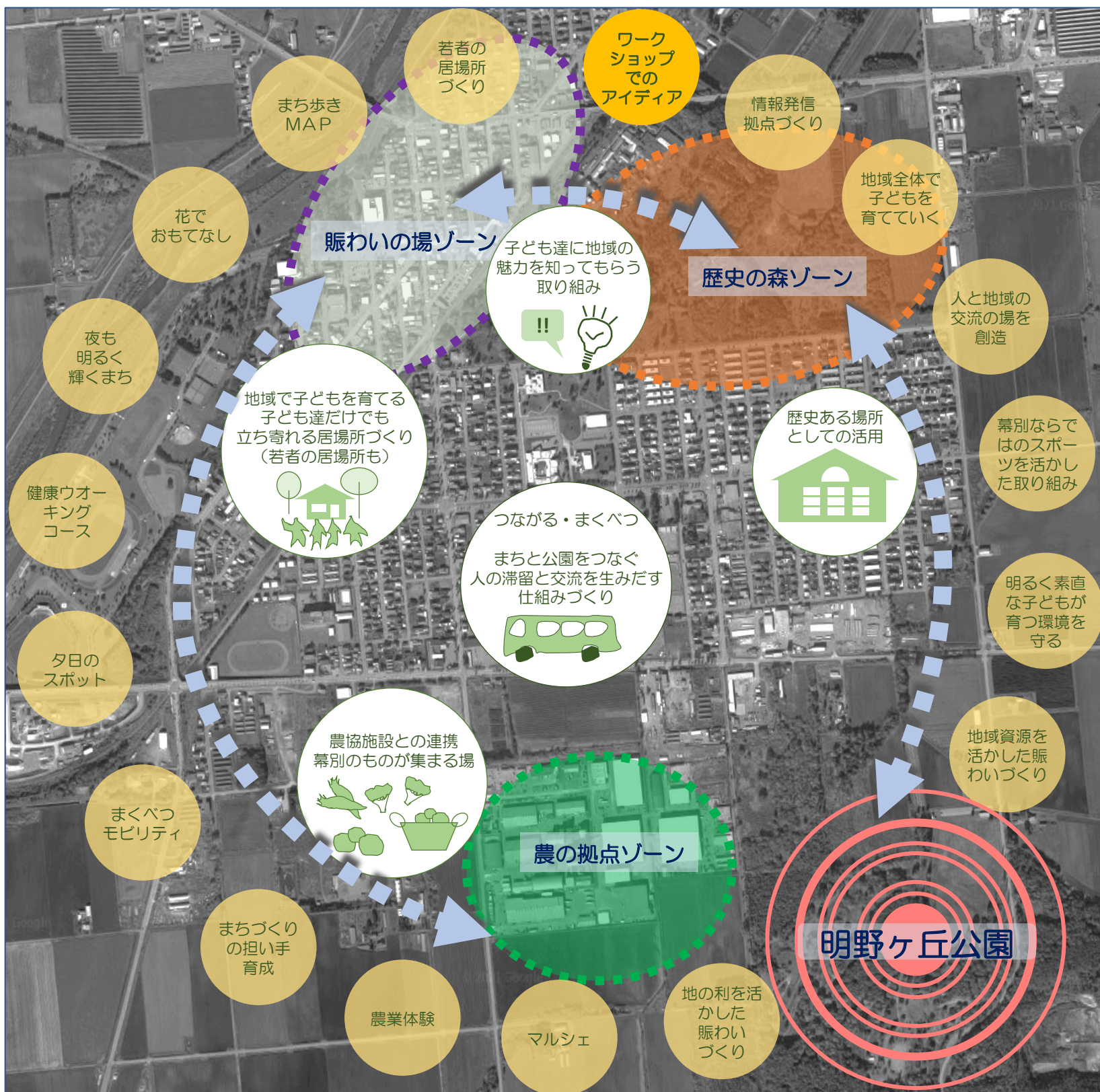
### 公園再整備と連携するまちを元気にする4つの視点

- 1 幕別の自然と農業による美しい風景と美味しい食を楽しむ大切にまち
- 2 子どもがのびのびと育つまち
- 3 企業と連携して取組むまち
- 4 幕別の魅力や情報を上手に発信できるまち

### 公園の活性化につながる3つのゾーニング



### ゾーニング図と実現のアイディア



## 公園再整備の方針

ファン・プロジェクト・まくべつの意見交換で顕在化した公園の課題と再整備に対する要望を踏まえ、公園再整備の考え方を以下のようにまとめました。







### ■公園再整備の課題

●施設の老朽化	●認知度の不足
---------	---------

### ■公園再整備への要望

●感染症にも対応する公園	●季節を楽しむ花がある公園	●多様な主体との連携
●バリアフリーな公園	●ユニバーサルデザインの公園	●新たな活用を受け止める公園
●子育て世代に来てもらえる	●他の公園との差別化	●自然を感じる公園
●自然を楽しむ公園	●カシワを生かした取り組み	●公園全体を健康づくりの場に

### ■公園再整備の基本的な方針

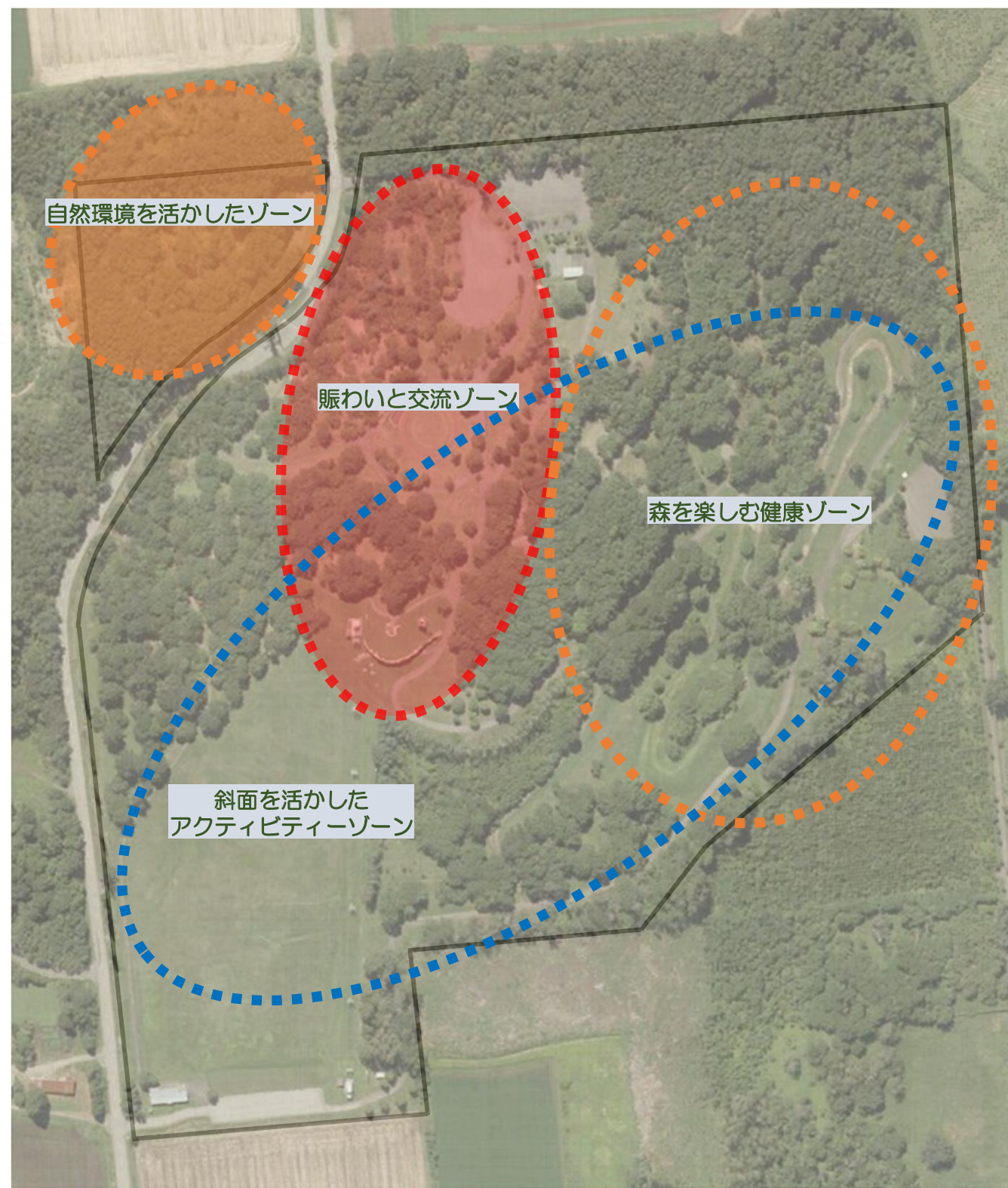
<p>1 みんながつながるきっかけとなる公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々なイベントを楽しめる空間の提供を図る</li> <li>子どもたちのために多くの人に関われる空間づくりを行う</li> </ul>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> 
<p>2 自然の中で四季をゆっくり楽しめる公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>明るくきれいで、自然環境が充実した五感を刺激する空間づくりを行う</li> </ul>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> 	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 
<p>3 つくりすぎない可変性のある公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今あるものを活用する</li> <li>時代のニーズに対応する整備を行う</li> </ul>	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p> 	<p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p> 

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

### ■基本的な方針を実現させるための4つのゾーニング

賑わいと交流ゾーン	様々なイベントの利用や多様な活動拠点となる基盤を備えたゾーン。
自然環境を活かしたゾーン	既存樹林の適切な管理に重点を置きつつ、斜面を活かして多目的な活用を創造するゾーン。
森を楽しむ健康ゾーン	緑豊かな樹林地で身体を動かし様々な野外体験を創出するゾーン。
斜面を活かしたアクティビティーゾーン	自由に遊べ、新しい活用にチャレンジするゾーン。

### ■ゾーニング図



施設整備の具体的な方向性

■各ゾーンの整備内容

施設	目的	整備段階		
		I期段階	II期段階	備考
①駐車場	公園の多目的利用を図るため、適正な駐車場の規模と園内の動線を考えた配置	●		
②遊戯施設	年齢に応じた遊具を親子がくつろげるように配置	● ●		
③屋根のあるスペース	酷暑時や降雨時にイベントや人が集えるような半屋外空間		●	活用・運営方法等が決まった段階
④屋内施設	親子が四季を通じて楽しめる空間		●	活用・運営方法等が決まった段階
⑤トイレ	きれいで、誰もが使い易いトイレを園内に数箇所設置	●		
⑥エントランス(出入口)	解り易く明るい印象を与える公園の出入口を設ける	●		
⑦メインアプローチ園路	キッチンカーなど多目的な利用が可能となる機能を持たせた園路	●		
⑧サブアプローチ園路	ベビーカーや車椅子でも利用しやすい緩やかな勾配での園路で、園内エリアを連絡する	●		
⑨散策園路	利用する人の体力や目的に対応する動線や路面とし、機能の向上を図る	●	●	I期段階から段階的に整備
⑩インフォメーション施設	公園へのアクセスやイベント情報、わかりやすく園内を案内する	●		
⑪ガーデン	公園からの景色やピラ・リを活用し季節の花を楽しめる映える空間		●	活用・運営方法等が決まった段階
⑫既存樹木	密度調整により林内を明るくする等、園内の明るく快適な空間を点在させる	●	●	I期段階から段階的に整備
		<p>【凡例：整備施設のゾーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 賑わいと交流ゾーンに配置予定</li> <li>● 森を楽しむ健康ゾーンに配置予定</li> <li>● 斜面を活かしたアクティビティーゾーンに配置予定</li> <li>● 様々なゾーンに配置予定</li> </ul>		

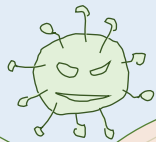
■基本計画ゾーニング図



ゾーンごとの活用のアイデア

公園全体に関わる活用のアイデア

感染症にも  
対応する公園  
(長いベンチなど)

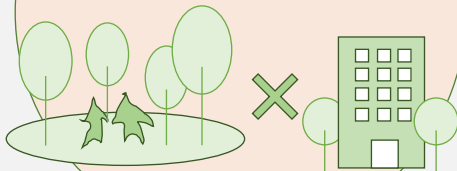


季節を楽しむ花



多様な主体との連携

活用のしかた  
管理のしかた  
維持のしかた



収益を上げる工夫  
(使用料の徴収など)



つながる・まくべつ

まちと公園をつなぐ  
・健康ウォーキング  
コースづくり  
・交流を生む  
まくべつモビリティ



ベビーカーや車椅子も  
利用しやすい園路づくり

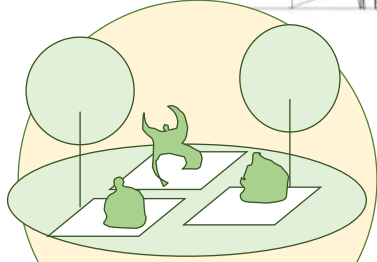


● ● ●  
ハード面    ハード ソフト面  
                  ソフト  
                  両面

地元のを  
食べられる楽しめる  
場づくり



ピクニックシートで  
食を楽しむ



飲みながら  
企画会議など、  
自分が楽しむ  
食のイベント



参加型でつくる  
アートスペース  
ライブイベント  
音楽イベント  
着物のファッションショー



自然環境を活かしたゾーン



イベント時に  
合わせた  
係留気球



斜面を活かしたアクティビティゾーン

賑わいと交流ゾーン



屋根のある休憩スペース  
WSもできる  
カフェ、ショップ  
レンタルなど



子育て世代に  
来てもらえる施設整備  
(屋内遊戯施設)



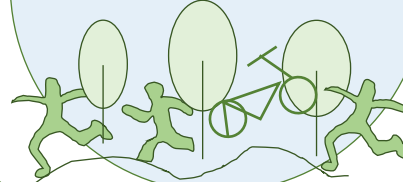
他のコースとの差別化  
メリハリをつけた  
パークゴルフコース  
初心者向け専用など

森を楽しむ健康ゾーン



自然を感じる、自然を楽しむ  
カシワの葉を生かした取り組み  
・カシワ料理  
・カシワアート  
・カシワスモーク

クロススキー  
アイスクロス  
ノルディックウォーク  
ハーフパイプ  
歩くを楽しむ  
BMXコースの拡大など



周遊散策路  
公園全体を健康づくりの  
スポーツコースに  
(初心者からアスリートまで)

イベント時に  
飲食や物販ができる  
仮設のイベントキャビン  
休憩やデイキャンプ、  
ワーケーションなどにも  
活用できる  
仮設のアクティブキャビン

